

ちょっと気になるデータ

# 2020年の労働時間

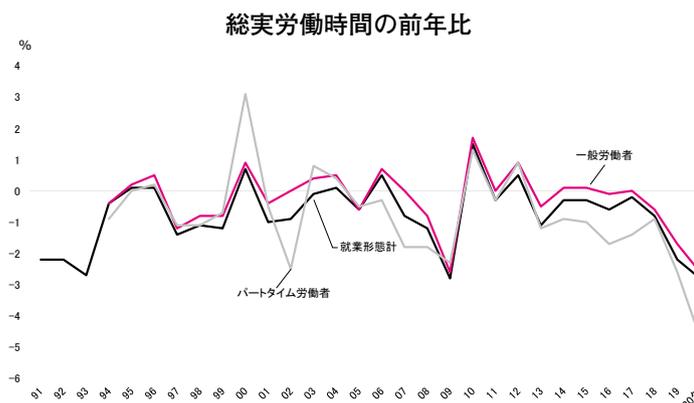
## — 毎月勤労統計調査結果から —

2021年2月24日に厚生労働省から「毎月勤労統計調査」の令和2年分の結果(確報)が公表された。その中から労働時間の統計の結果を紹介する。

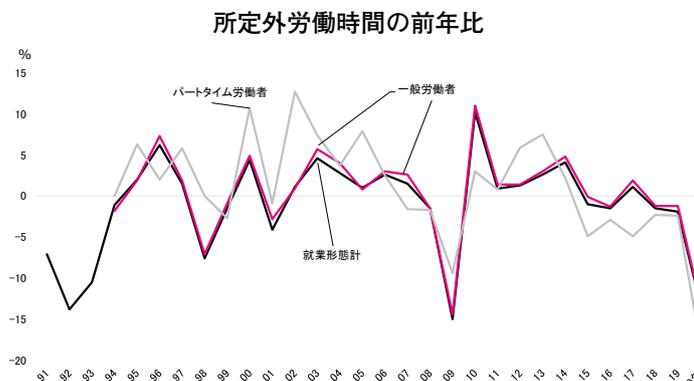
2020年の月間平均の総実労働時間は、就業形態計では135.1時間で前年比2.8%減、一般労働者では160.4時間で2.6%減、パートタイム労働者では79.3時間で4.7%減となった。前年比の推移をみると、就業形態計の総実労働時間は2013年以降減少し続けているが、2020年はリーマンショック直後の2009年以來の大きな減少幅となった。

総実労働時間のうち所定外労働時間についてみると、就業形態計では9.2時間で13.2%減、一般労働者では12.4時間で13.0%減、パートタイム労働者では2.1時間で18.1%減となっている。

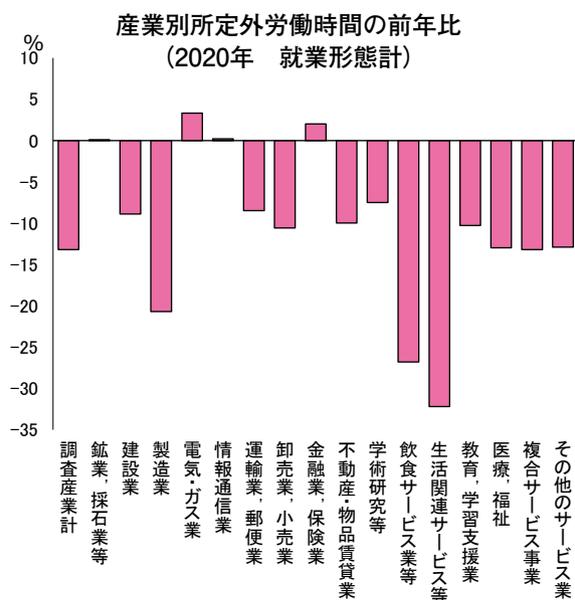
所定外労働時間の前年比の推移をみると、就業形態計と一般労働者では



注 2012年以前は「時系列比較のための推定値」。



注 2012年以前は「時系列比較のための推定値」。



2018年以降3年連続で減少しており、パートタイム労働者では2015年以降6年連続で減少している。また、パートタイム労働者の減少幅は統計の取れる1993年以降で最大となっている。

また、2020年の就業形態計の所定外労働時間について、産業別にみると、多くの産業で前年に比べて減少となっている。とくに、「生活関連サービス等」では32.2%減、「飲食サービス業等」では26.8%減、「製造業」では20.7%減と減少幅が他の産業と比べて大きくなっている。

(調査部 統計解析担当)